

たかし

<http://www.suginami-school.ed.jp/takaido4shou/>

杉並区立高井戸第四小学校

人間の不完全さと弱さ

校長 加納 直樹

先日、精神科の医師のお話を聞く機会があり、そこで印象に残ったメッセージがありました。それは人間は皆、不完全で弱い生き物だというお話でした。そのままを紹介いたします。

人間は皆、不完全です。弱さだけでなく愚かさや身勝手さを抱えています。そもそも、人は皆、人生の初心者です。全ての人生は1回目です。たとえ人間社会で知識が蓄積され伝達されるとしても、学び、成長していくためには時間もかかるし、努力も必要です。子供への虐待は大きな課題ですが、子育ては簡単なものではないし、支援なしでできるものでもありません。人間は不完全な人間に育てられ、不完全な人間となって、次世代の人間を不完全に育てていくしかないのです。

こういった弱さや、不完全さの認識は、自然や宇宙に対しての謙虚さ、他者(他の生命体)への寛容さ、優しさ、ひいては平和な社会への希求にもつながりうるはずです。

ご存じの方も多いとは思いますが、本校には言葉の通級指導学級(ことばの教室)と特別支援教室(たかし教室)があり、7名の専門性の高い教員が子供たち一人一人の特性やニーズに合わせた教育活動を充実させています。

1週間に1度の貴重な時間だからこそできることや教育的効果はたくさんあります。

- 1 児童自身への直接的な「教育支援」だけでなく、児童の生活や環境(学びの場)にも働きかけた支援がなされる
- 2 外での活動を支える「足場」を作る
 - ・児童自らが、発見することを体験する
 - ・児童に、安心・勇気・自信・意欲が生まれる
 - ・児童が、自分に合った学び方や解決方法を身に付ける
- 3 個別最適化された学びの時間は、児童の1週間の生活に続く
- 4 日常から適度に離れ、守られた場で、自分を表出する
- 5 児童の成長や変化に担当教員が気付く

など、効果的な指導を日々継続しています。

特別支援の担当教員に限らず、私たち高四小の教職員一同、一人一人の児童の生活や文化を理解し、教材や教育技法を工夫しながら、全員が協働して教育活動を進めてまいります。今後とも保護者の皆様、地域の皆様の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

11月の行事

日	曜	行事予定	遊ぼう会	校庭開放
1	火	生活科見学 (2年)		
2	水	委員会⑦		【開】 15:00～
3	木	文化の日	【遊】	
4	金	小児生活習慣病予防検診 (5年) ⑤⑥ SC	【遊】	
5	土			【開】 13:00～
6	日			【開】 13:00～
7	月			
8	火		CS	
9	水	午前授業		【開】 15:00～
10	木	B時程 安全指導 消防署見学 (3) クラブ⑦ (14:00～)	【遊】	
11	金	移動前日健康診断 (6) 出前授業: 走り幅跳び (4) ②③④SC	【遊】	
12	土			【開】 18:00～
13	日			【開】 13:00～
14	月	弓ヶ浜移動教室始 (6)		
15	火			
16	水	弓ヶ浜移動教室終 (6)		【開】 15:00～
17	木	ウェルカム警視庁 (3年) ⑤⑥	【遊】	
18	金		SC	【遊】
19	土	土曜授業 共生社会教育 (5年) ①～③		【開】 13:00～
20	日			【開】 13:00～
21	月	出前授業: パルクール (1) ③④		
22	火	オペラ教室5・6年		
23	水	勤労感謝の日		【開】 13:00～
24	木	社会科ゲストティーチャー (4)	【遊】	
25	金		SC	【遊】
26	土	長縄グランプリ予備日		【開】 13:00～
27	日			【開】 13:00～
28	月	出前授業: HIPHOPダンス (6) ③④		
29	火			
30	水	午前授業		【開】 15:00～

*予告なしの避難訓練があります。

【遊】 「遊ぼう会」 15:45～16:30
【開】 「校庭開放」 13:00(15:00)～16:00

11月の生活目標

～寒さに負けないからだをつくろう～

生活指導担当

段々と朝夕の気温が下がってきました。これから空気がより一層乾燥するため、様々な感染症が流行する時期でもあります。これからの本格的な寒さに備えるため、寒さに負けない体づくりが大切です。学校においては、日頃から「こまめな手洗い」「好き嫌いをなく食べる」ことなどを指導しています。ご家庭では、学校での指導事項に加えて、帰宅後のうがい、気温に合わせた衣服の着用、ハンカチ・ティッシュの携帯などの声かけをよろしくお願いいたします。規則正しい生活を心がけ、心身共に健康に過ごせるようお願いいたします。

音楽室より

音楽担当

「できた!」「見て!」の声にどれだけたえられるか。教師が見るだけでなく、たくさんの友達にも見てほしい子、逆にまだ友達に聞かせるのは恥ずかしいけど先生にはこっそり聴いてほしい子、etc. いろいろな「できた!」にできるだけタイムリーにその子の特性に合った形で応えたい。

子供たちの姿を見ていると、うれしい小さなステップや楽しい瞬間を積み重ねてこそ表現意欲が自然と高まっていくとつくづく感じます。

音楽の教科でも思いや意図をもって表現することがますます重視されてきています。また子供たちが主体的に関わり合って表現を工夫していくことが求められています。そのことを踏まえながら、子供たちが描いたイメージを子供たちが満足できる音として実現できるように、一人一人がじっくり自分の技能に磨きかける時間も十分確保したいという気持ちがあります。

限られた時間を効率よく充実させることができるためのICTの活用法も考えながら実りのある時間を日々目指していきます。

SC来校日 11/4(金)、11(金)、18(金)、25(金)
CS学校運営協議会 11/8(火)